



あっと

えいぜん通信@北陸

春号

Vol. 60



新潟県議会旧議事堂（新潟県政記念館）

■投稿者：新潟県 土木部 都市局 営繕課
■撮影場所：新潟県新潟市中央区一番堀通町3-3

Contents

■公共建築月間イベント

公共建築パネル展

【北陸地方整備局 営繕部／金沢営繕事務所】・・・2

（重文）新潟県議会旧議事堂の現場見学会

【新潟県 土木部 都市局 営繕課】・・・3

高校生の建設現場見学会

【富山県 土木部 営繕課】・・・4

金沢城復元「匠の技」セミナー

【石川県 土木部 営繕課】・・・5

■トピックス

工事書類スリム化ガイド（営繕版）を策定しました

【北陸地方整備局 営繕部 技術・評価課】・・・6

■保全だより

春の保全・不具合事例

【北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室】・・・7

公共建築パネル展

(北陸地方整備局 営繕部／金沢営繕事務所)

北陸地方整備局営繕部と金沢営繕事務所は、11月11日の「公共建築の日」11月の「公共建築月間」に際し、公共建築に対する理解と関心を深めていただくことを目的に、管内の地方公共団体と協力して、公共建築における防災・減災や木材利用等への取組みを紹介する「公共建築パネル展」を開催しました。

今回の展示では、60年前に発生した新潟地震、令和6年1月に発生した能登半島地震について、当時の被災状況を中心に展示しました。また、新潟地震以降の北陸地方整備局の耐震への取組み等について、管内の耐震、免震、制震構造を採用した公共建築物などを交えて紹介しました。

■ イベント詳細 ■

【新潟県】

- 開催日 令和6年11月6日～11月12日
- 会場 朱鷺メッセ
(ホテル日航新潟 31階 Befcoばかうけ展望室)
- 主催 北陸地方整備局営繕部
新潟県土木部都市局営繕課
新潟市建築部公共建築課

【富山県】

- 開催日 令和6年11月26日～12月2日
- 会場 くろべ市民交流センター「あおーよ」
- 主催 北陸地方整備局金沢営繕事務所

【石川県】

- 開催日 令和6年11月19日～11月26日
- 会場 石川県立図書館
- 主催 北陸地方整備局金沢営繕事務所

○後援(3県共)

公共建築の日
公共建築月間北陸地方実行委員会

【パネル展示内容】

- ・新潟地震から60年の経過及び、令和6年1月の能登半島地震を踏まえた、防災・減災への取組みに関するパネル展示。
- ・官庁施設における木材利用促進への取組み及びBIM活用への取組みに関するパネル展示。
- ・公共建築賞作品のパネル展示。



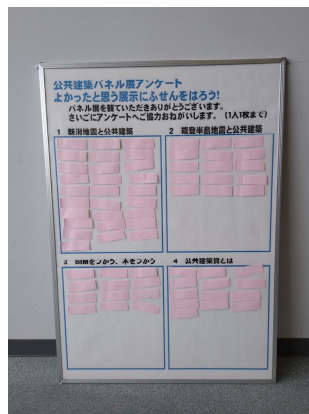
新潟会場（朱鷺メッセ）



富山会場
(くろべ市民交流センター「あおーよ」)



石川会場（石川県立図書館）



パネルを覗いていただいた方にアンケートを行い、良かったと思う展示内容に「ふせん」を貼っていただきました。

(重文)新潟県議会旧議事堂の現場見学会

(新潟県 土木部 都市局 営繕課)

公共建築月間のイベントとして、建築を学ぶ県内の高校生を対象とした新潟県議会旧議事堂(新潟県政記念館)の現場見学会を開催しました。

この旧議事堂は、昭和44年に国の重要文化財に指定されたもので、現在当課において保存修理を進めています。

現場見学会では(公財)文化財建造物保存技術協会技術主任の小嶋はるか様を講師にお招きし、文化財建造物の価値や保存修理のやり方について真摯に分かりやすくご説明いただきました。参加者の高校生からは「建築は深く、面白いものだと改めて感じた」「自分も将来文化財の修理に関われるように勉強していきたい」といった感想を多数いただいています。

新潟県では、次代の担い手確保・育成を図る

ため、今回のような見学会を今後も継続的に実施していく予定です。関係者の皆様のご協力に感謝するとともに、引き続きご支援をお願い申し上げます。

■イベント詳細■

- 開催日 令和6年11月14日
- 主催 新潟県土木部都市局営繕課
- 共催 (一社)公共建築協会
北陸地区事務局
- 講師 (公財)文化財建造物
保存技術協会 小嶋はるか様
- 協力 株式会社田中組(工事受注者)
- 参加者 新津工業高等学校 日本建築科
2年生17名 引率教員2名 計19名
- 内容
(座学) 文化財建造物の保存修理工事と
(重文)新潟県議会旧議事堂の
修理について
(現場見学) 新潟県議会旧議事堂



【参加者の感想】

- ・ 文化財の保存修理工事は、ものすごい年月をかけて完成することが分かりました。講演いただいた、小嶋さんの現場愛が伝わりました。
- ・ 当時の材料や道具を使い、オリジナルの形を守っていることが分かりました。
- ・ 分かりやすく1時間とは思えないほど良い座学でした。
- ・ 現場見学は座学で学んだことを照らし合わせて見れたので分かりやすかったです。
- ・ 実際の工事現場を見ることができて良かった。建物自体に修理の記録を残すことを初めて知りました。
- ・ 建築の考えが変わるほどの衝撃を受けました。
- ・ 旧議事堂のような歴史的価値のある建物を改修する仕事に就いてみたいと思いました。
- ・ 歴史を感じられる建物を増やしていけるよう勉強していきたい。昔の建物は魅力的だと思いました。

高校生の建設現場見学会

(富山県土木部 営繕課)

令和6年10月29日に「高校生の現場見学会」が開催されました。この催しは「高校生に社会資本整備の必要性を認識していただき、若手の人材確保に繋げることを目的とし、(一社)富山県建設業協会が例年主催しているものです。

今年度は、県西部の公共施設の工事現場が中心となっています。ここでは富山県発注の「県民公園太閤山ランドファミリースポーツプラザ等災害復旧等工事」での現場見学について紹介します。



本工事は「令和6年能登半島地震」で被害が生じた太閤山ランド内の体育施設である、ファミリースポーツプラザとふるさとパレスの災害復旧工事(*1)です。

当日は高岡工芸高等学校建築科の2年生35名が参加してくださいました。見学に先立ち、工事受注者の現場代理人から工事概要や施工のポイントについて説明がありました。

その後、ファミリースポーツプラザの工事現場に移動し、屋外テラスの下に敷設された棚足場が、脱落した天井材の補修のために組まれたものであることの説明がありました。

次にふるさとパレスへ移動し、屋内外の作業足場の敷設状況を見学しました。脱落した鉄格子の手すり、ひび割れや欠損が生じた鉄筋コンクリートの柱の補修に敷設したものであることの説明がありました。

いずれの施設も地震被害の補修前であったため、地震により建物に生じる被害がどれほど大きいものか感じていただけたと思います。



最後に、工事受注者の若手社員から、現在携わっている業務や仕事でのやりがい、休日の過ごし方等について説明いただきました。

質疑応答では、「高校の間に取得しておけばよい資格は何か。」の質問に対し、「2級施工管理技士補の取得がよい」というアドバイスがあり、高校生たちは熱心に聞き入っていました。

*1: 工事概要は、えいぜん通信@北陸 令和6年秋号で紹介しています。

https://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/011_kouhoushi/back_number/58_2024aut.pdf



金沢城復元「匠の技」セミナー

(石川県土木部 営繕課)

令和6年11月9日に、金沢城復元「匠の技」セミナーが開催されました。本セミナーは県民に伝統的建造技術に対する理解を深めてもらうためのイベントで、「石川の伝統的建造技術を伝える会」（以下「伝える会」）が公共建築月間にあわせて毎年開催しています。

セミナーでは、今年度に工事着手した金沢城二の丸御殿の復元整備と、能登半島地震で被災した金沢城の石垣の復旧をテーマに行いました。

1 伝える会の活動等の紹介

金沢城内の復元工事に実際に携わった職人が、工事現場での苦労話なども踏まえながら活動内容などを紹介しました。

2 金沢城内の復元整備事業の紹介

県の担当者が、今年度から復元工事に着手する金沢城二の丸御殿の特徴について、VR動画を使いながら紹介しました。

3 石工技術の解説

石工の職人が、令和6年1月に発生した能登半島地震で被災した金沢城の石垣について説明しました。被災した現場に移動し、取り外された石材を間近で見てもらい、石垣の積み方などの石工の技術について解説しました。



講義の状況



現場見学の状況

参加者からは、「職人さんの苦労について理解できた」「説明が丁寧でわかりやすかった」「職人の技を実際に見てみたい」などの声が聞かれ、大変好評でした。

【石川の伝統的建造技術を伝える会】

金沢城の復元工事に係る木工、石工、左官工、金属屋根工、建具工、瓦工、タイル・煉瓦工、鳶土工、造園工の専門工事業の諸団体により平成12年に結成され、金沢城の復元工事で培った木造の伝統的建造技術を後世に引き継いでいくために情報収集、記録保存、情報発信、技術の習得・継承及び後継者の育成などの活動を行っています。



技術者の育成（鉛瓦葺き）

工事書類スリム化ガイド(営繕版) を策定しました

(北陸地方整備局 営繕部 技術・評価課)

工事書類スリム化ガイド(営繕版)は、営繕工事における工事関係書類作成の一層の効率化など、現場技術者の負担低減を図るための具体的な取り組みを紹介するものです。

営繕工事においては、従前より「工事の書類の簡素化・効率化」の取り組みを行ってまいりましたが、より多くの方にその内容を知っていただくため、わかりやすくとりまとめた本ガイドを策定したものです。

現場技術者の負担軽減を図るための取り組み

営繕工事の生産性向上に向けた関係者間調整の円滑化

営繕事業の各段落(設計段階、施工段階)において、適切な設計図書を作成に向けた取組等、発注者として実施する事項の実施に努めます。

工事関係書類の徹底した削減と簡素化

不要な資料を作らない・求めないようにします。

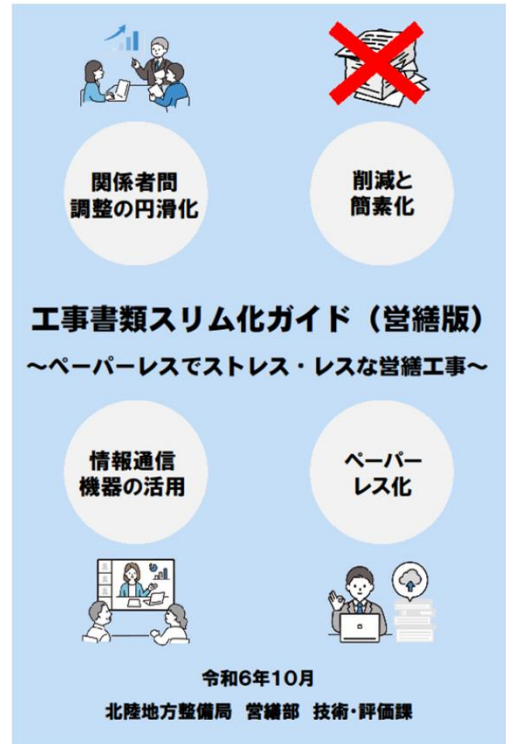
※工事関係書類の共通項目を自動で反映する機能を付加した書式の入力シートの使用により、工事関係図書等全99書式のうち、66書式について共通事項の自動反映が可能。

電子データの活用によるペーパーレス化

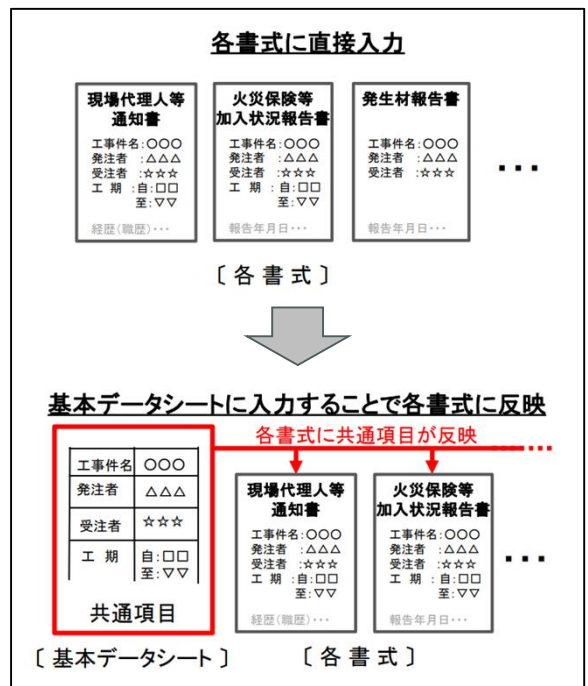
ペーパーレス化により、紙資料のコピー・ファイル綴じ作業の削減、二重提出(紙と電子)を不要とします。

情報通信機器の活用により打合せ・立会い・検査等を効率化

関係者の移動や待ち合わせ、準備等にかかる時間を削減します。



書式入力シート使用による簡素化イメージ



工事書類スリム化ガイド(営繕版) はこちらから

https://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/002_koujikanren/SPCD_oct_2024.pdf



春の保全・不具合事例

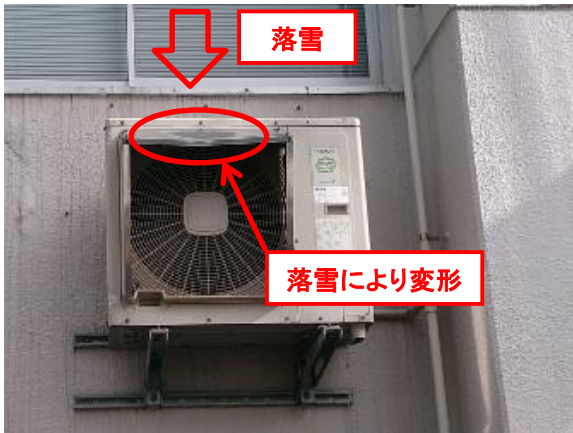
(北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室)

冬期間の落雪、除雪、雪解けなどにより、多く見受けられた不具合事例を紹介します。

これらの事例を参考に、皆さんが管理する施設でも点検や確認をお願いします。

【落雪による損傷】

外壁上部から雪庇が落下し、エアコン室外機防雪フードが変形。(写真1)



(写真1)

外壁上部から雪庇が落下し、ルーフドレン管の継手が外れた。(写真2)



(写真2)

【除雪作業による損傷】

除雪作業により駐車場内の車止めが外れた。

(写真3)



(写真3)

【点検・清掃不足による屋上プール化】

屋上ルーフドレンの点検・清掃を怠っていたため、目詰まりを起こし、雪解け水が排水されずに屋上がプール化した。(写真4)



(写真4)

施設保全責任者、保全担当者として、良好な状態を保つよう、庁舎の維持管理をお願いします。

各機関のホームページ

新潟県 <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/eizen/>



富山県 <https://www.pref.toyama.jp/1508/kensei/kenseiunei/kensei/soshiki/15/1508.html>



石川県 <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/index.html>



新潟市 <https://www.city.niigata.lg.jp/business/doboku/kokyokenchiku/index.html>



北陸地方整備局営繕部 <https://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



北陸地方整備局金沢営繕事務所 <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>



編集：北陸地方整備局 営繕部

TEL 025-280-8880（代表）

FAX 025-370-6504

北陸地方整備局 金沢営繕事務所

TEL 076-263-4585（代表）

FAX 076-231-6369

えいぜん通信@北陸 2025年(令和7年)3月発行

『えいぜん通信@北陸』は、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市での公共建築に関する取り組みなどについて情報発信をしています。